

阿見第二小学校 令和6年度 第3回学校運営協議会 議事録

- 日 時 令和7年2月27日(木) 18:30
- 場 所 西郷公会堂
- 出席委員 区長：4名
(17名) 民生委員児童委員代表：2名
ボランティア代表：5名
学識経験者：1名 地域産業：1名
PTA：3名
学校代表：学校長
欠席委員(3名) 事務局：教頭、教務主任
阿見町教育委員会生涯学習課 課長 他3名

事務局：会に先立ち、委員20名のうち17名の参加があり、規約に基づき、この協議会は成立することの確認。

【開会の言葉】 教頭

【学校長あいさつ】

令和6年度も残りわずかとなり、6年生はあと12日登校すると卒業となる。6年教室にある手作りのカウントダウンカレンダーが一枚ずつ減っていくのを見るたびに寂しさを感じている。

さて、4年目を迎えてスタートしたコミュニティ・スクールも、宮本会長を中心に昨年度までに培ってきた経験を生かし、委員会の方にご指導をいただきながら活動を進めることができた。「阿見第二小学校としてのコミュニティ・スクール」の基本的な形と方向性が見えてきた一年だったかと感じている。この後、後期の活動報告もあるが、環境整備活動や登下校の見守り活動、朝の読み聞かせなど、長い間二小の子供たちのために継続して活動してくださっていることに加えて学習支援や県立医療大さんでの研修会、井関さんとの活動と活動範囲が広がっている。また、長年の懸案事項であったトイレの洋式化についてもPTAと連携することで保護者の皆さんの理解も深まり、まさに学校・地域・保護者が一体となって子供たちのために何ができるが考えて実践していこうと気運も高まっていることを感じられ、大変うれしく感じている。

本日は、報告事項が主となるが、来年度に向けて学校運営をともししている皆様から忌憚のないご意見をいただけたらと思っている。

また、会議後は、評価PTとして、みなさんに記入していただいた「二小コミュニティ・スクール進捗状況の評価」をもとに話し合いをし、来年度の活動に繋げていけたらと考えている。

では、今年度最後の運営協議会よろしくお願いします。

【会長あいさつ】

学校運営協議会は年3回の会議を行い、今日は報告事項が主になる。報告事項のあとに委員の皆様から意見と感想をいただきたい。ご存じの通り、本校コミュニティ・スクールの組織図は、「子ども」が一番上にある。「子どものために何をやるか。」その観点から発言をしてほしい。

また、各部会長からも各部会の取組について反省を含めて話をお願いしたい。

【町教育委員会生涯学習課 課長あいさつ】

みなさま、第3回阿見第二小学校学校運営協議会に出席いただきありがとうございます。日頃より町行政へのご協力ありがとうございます。保護者や地域の皆様のご協力のおかげで、学習支援や朝の読み聞かせ、児童の登下校の見守り、草刈りや花壇の整備などの様々な活動が活

発になっており、子どもたちが充実して生活できている。本日は、後期活動報告や次年度の計画があると思うので活発に話し合いをしていただければと思っている。本日もよろしくお願いします。

【議事】

議事進行＜会長＞

協議 1 資料 1 『後期活動報告』 ＜副会長＞

前期分は終了しているため、資料 No. 31 から報告。

11 月 7 日 第 2 回学校運営協議会 西郷公会堂

その後、学習支援、ハナミズキの会などの活動を行ってきた

トイレの改修は、校長先生、会長から報告がある。

2 月 27 日 本日第 3 回学校運営協議会を開催

その他として、毎日の登下校見守り活動や随時、グラウンド草取りなど環境整備を行っている。

会長：今年度の特徴的な地域との関わりとして、県立医療大学さんと共同研修会、井関さんへの校外学習、学習支援（保護者が増えた）、ふれあい地区館の高齢者部会との連携などがあり、先日の昔の遊び体験でも我々が楽しんで活動している。ぜひ今後も継続していきたい。奉仕作業も、PTA とともに地域の人も一緒に行うことができている。地域の方から、「コミュニティ・スクールは何をしているのですか。」などとまだ聞かれることもあるので、それら（どのようにさらに周知させていくか）は今後の議案としていきたい。何か活動報告について質問や意見等はあるか。質問等なし

協議 2 資料 2 『学校の後期の取組について』 ＜学校長＞

後期学校評価アンケート（児童と保護者）

第 2 回学校運営協議会の時に前期のアンケート結果を見ていただいた。

後期も同じ質問にして、比較・検討できるようにしてアンケートを実施した。

【児童アンケート結果について】

5 月の第 1 回学校運営協議会の際に、グラウンドデザインを見ながら今年度の学校運営方針を説明し、承認をいただいた。3 枚目の表は、そのグラウンドデザインに明記した、今年度特に力を入れたい項目と数値目標、その結果を示したものである。まず、数値目標は、昨年の学校評価アンケートの結果を基にし、設定した。グラウンドデザインに明記した 13 項目のうち、数値目標を達成できたのは 6 項目。特に力を入れて取り組んできたので、全項目で数値目標を達成しなかったが、できなかったのが残念。しかし、本校の実態と課題が見えてきたので、その部分を今後どのように解決していくか。そのためにコミュニティ・スクールとしてどのような活動ができるか、ということを委員の皆様とともに次年度に向けて話し合っていきたい。

前期と比べると 25 項目のうち 17 項目で肯定的な回答の割合が増えている。毎回ご指摘を受けているが、少数でも、否定的な回答をしている児童もいるため、学校生活アンケートや日頃の観察を基に、個別面談を行ったりしながらそうした児童の支援を大切にしていこうと職員で確認しているところである。

【保護者アンケート結果について】

肯定的な回答が 85%を超えた質問が 16 項目中 8 項目

前期の結果より肯定的な回答の割合が増えている質問が 4 項目とやや厳しい結果。

特に課題として捉えているものが、質問4「いじめについて」である。肯定的な回答の割合が52.1%、分からない39.4%の結果。いじめの未然防止やいじめの早期発見というのはグランドデザインに示している重要事項の一つ。学校として力を入れて取り組んでいる。現在の取組を継続し、保護者の方から理解を得られるように、そして子供たちや保護者の方に「二小はいじめがない学校だ」と実感していただけるように、人間関係づくりや温かい雰囲気の学校づくりを心がけていく。

自由記述（8件）について

上から3つ目、4つ目のように、我々の頑張っていることを理解し、認めていただけていることにうれしさを感じている。教職員にとってもこうした意見が今後の励みになる。これからも頑張っていきたい。

人数が少ない学校であるため、少しの変化でパーセントが変わってしまう。数値に一喜一憂するわけではないが、一つの基準として考えている。この結果を、来年度のコミュニティ・スクールとしての活動にどうつなげていくか、一緒に考えていきたい。

会長：質問、ご意見や感想はあるか。

委員：ボランティアをもっと募集してほしい。草取りが大変。

委員：4のいじめについては、子どもからいじめの話を聞かない。嫌なことがあったなども聞かない。そういうことがないのではないかな。この「わからない」は、先生方は不安でも、今の学校はとても落ち着いているということではないか。

委員：児童アンケート結果は、もとの数値目標が高いため、全体的に見ると十分な結果であると感じる。経年変化をみて、今年は何が違うのか、数値が上がった項目は、どんな取組が功を奏したのかなど、分析していったほしい。

学校長：おっしゃられる通りで、昨年度結果と今年度結果を比較し分析している。例えば「進んで読書をしている」については、昨年は80%が今年は84.6%でほぼ当初の目標を達成した。これは、ハナミズキの会の継続した活動が功を奏している。

委員：（読書について保護者結果が低いことについて）うちの子が本を読んでいるかどうか保護者はわからないときもある。ただ、家庭で本を読んでいる姿を見ていないだけかもしれない。（ハナミズキの会として見ていて）二小の児童は、本当に本に興味をもっているし読書が好きだと感じる。

委員：否定的な意見が出るのは世の常。二小学区の児童、地域の方、職員の方が元気ハツラツに過ごせていること、自分の子供が二小に通うことができていることを誇りに思う。

委員：今の委員の発言が多く保護者の意見。児童が少ないこともあり、先生たちが一人一人を丁寧に見てくれている。アンケート結果の良し悪しについて、次年度アップさせたり継続させたりしていくためには、保護者もこの結果を共有してどうしたらいいかを一緒に考え、子供たちのスキルアップにつなげていくことが必要。

委員：二小の子供たちはみんな元気がいい。一年生、二年生が校外学習で来ているが、二年生は、時期がよく、ちょうど会社でイベントをやっていて、たくさんの機械を見学することができた。子供たちの中には鋭い質問をする子もいて、感心している。見学場所については、2カ所回ると子供たちも疲れてしまうので、今年のように一日一カ所に絞るとよいのではないかな。一年生は木の実拾いに来てくれたが、今年で言えば1～2週間遅い方が木の実が多くあってよかったかも。自然相手なので難しいところはあるが。

会長：医療大さん、井関さんも社会貢献活動に力を入れている。二小のコミュニティ・スクー

ルと共同で行っていることをたくさんアピールして行ってほしい。

会長：ここでもう一度先ほどの活動記録を補足説明します。

資料 41 番 体育館トイレ全面改修 災害対策、避難場所として

53 番 女子トイレ洋式便器 2 増。町の 3 ヶ年計画にトイレの全面改修が入った。すべて洋式トイレとなり、壁なども直す。予算の関係あるが、町の方のご支援があったため計画が早まった。

学校長：体育館トイレの全面改修については、とてもきれいになり、保護者の方も児童も大変喜んでくれている。環境はやはり大切だとつくづく感じている。

女子トイレの部分改修については、今年度中に各階の女子トイレの洋式便器が 3 つずつになる。3 月 9 日に完成予定。昨年度の第 3 回学校運営協議会では、教育委員会に提出した要望書に対する回答が届き、その回答をこの場で紹介をしたことを思い出した。皆様のおかげで今年いい報告ができたことに心から感謝している。

あくまでも予定だが来年度から改修に向けた動きが進んでいくとのこと。

会長：では、各部会から報告をお願いします。

部会長：やはり、草取りの人数が足りない。特に今年は暑さや雨で草がものすごい勢いで生えた。二小のグラウンド面積に対して人数が少ない。来年は、もっとボランティアの人数を増やして行ってほしい。

会長：地域協力隊が、年に二回刈払作業をするとかなりきれいになる。しかし、グラウンドの中央付近の草取りは人数が足りない。例えば、「先生がやればいい」は無理。先生方には余裕がない。授業をされていて無理。来年は、どのようにしていくか考えていきたい。

委員：＜今年度 PTA で購入した体育館用いすの写真（資料として配付）を説明＞

現状をお伝えして共有したい。PTA の基金を使って体育館用のパイプ椅子を購入した。かなり老朽化したいすを一部きれいにした。保護者からも意見が届いたため 20 脚購入。大きなイベントである卒業式で卒業生に新しいいすを使用させたいという思いから購入した。今年度は、緊急対策として基金を使った。来年度から、町に予算要望をしていき、徐々に購入して老朽化したいすを入れ替えていく予定。

会長：PTA はいろいろな努力をしている。トイレ掃除で水をまくため、児童の上履きが濡れてしまうことを防ぐために長靴を購入したりもしている。

また、一つ提案だが、来年度の年計では 5 / 24 に PTA 親子奉仕作業が入っているが、コミュニティ・スクールの活動として捉え、例えば名称を「ボランティア・PTA 奉仕作業」として、「地域でやる。みんなでやる」ように名称を改名したらどうか。明日の PTA の役員会でも話題にしてほしい。

委員：先日行った 1 年生の昔の遊び体験（写真参照）について、説明する。

ふれあい地区館というものがあり、阿見第二ふれあい地区館として、学区で活動している。その中に高齢者部会があり、去年今年と二小の一年生に昔の遊びを教えながら子供たちとの触れ合いを行っている。今年は、教室と外それぞれ 4 つずつの遊びを子供たちに体験してもらった。高齢者の方もみんな楽しんでいる。毎年、継続してほしい。

会長：地域の方が、子どもたちのために何ができるか、ということをそれぞれの立場で考えて活動することがコミュニティ・スクールである。将来的には、子どもたちが地域の方のところに行って話を聞くとか、別の活動も発展させていきたい。

それでは、今年度最後なので、書いていただいた進捗状況評価表の内容でもいいので、

みなさんから一言ずつお願いします。

委員：PTA 副会長として、二小の子供たちのために地域のみなさんがやってくださっていることに感謝している。人と関わることで、子どもたちだけではできないことを体験できていてありがたい。これからも、見守ってほしい。

委員：長男の時には学校行事にあまり関われなかったが、次男になって、初めて参加したり関わったりしている。そこで改めて、子供たちが地域の皆さんに支えられていることが分かった。皆さんの役に立てることがあればやります。

委員：このような場をもち、問題点を1つ2つ出し合って解決していくことで、子どもたちのためになっているのだと感じた。企業の立場で営業として大事にしていたことは「コミュニケーション」。コミュニケーションをとって人間関係をつくっていかねければ、人は本音を絶対に言わない。コミュニケーションは、人との関わりとしてとても大切。人と人との触れ合いを大切にしてほしい。

委員：この協議会の立ち上げから委員として活動し、今年研修に来ていただきお役に立ててよかった。これからもつながりをもち、できることは協力していきたい。

委員：ハナミズキの会でブラックシアターを行い、大反響をいただいた。「楽しかった。すごかった。今月もブラックパネル？」と、児童から言われてとても嬉しかった。もう一つ、今年は「蛇年」ということもあり、読み聞かせの時間に「ながいながい」というお話をする。これは楽器を使って話を進めていく。1月は1・2年合同、そして3月に3・4年合同、5・6年合同で学校と協力しながら行っていく。(実物を提示)

委員：今年度初めての参加であったが、来年も引き続き頑張っていきたい。

要望として、体育館の空調をお願いしたい。

委員：先ほども言ったが、外の環境整備にあたって、人員増加をお願いしたい。

会長：グラウンドのコスモス・ヒマワリ畑は、委員さんが中心で行ってくれている。

委員：小学校に孫はもういないが、これからも草取りは協力する。親子奉仕作業に両親で来てくると、人数が増えてもっとグラウンドがきれいになるかなと思う。

会長：奉仕作業は、教職員・地域・児童と一緒に行いたい。「ボランティア・PTA 奉仕作業」を来年度は地域に積極的に呼びかけていこう。

委員：来年度は西郷から一年生が5人入る。見守り隊ではないが、登校時、子供たちを送っていくことがとても楽しみ。

委員：学校運営をしていて課題がある、その課題をどのように解決していくか、年度当初にこの協議会で対応案とスケジュールを出し合って計画的に進めていくといいのではないかな。例えば、草取りも仕事をしている人は日中は無理なので、17時からやってそのあとお疲れさま会をやるとか、保護者と児童もグラウンドを使うから一緒にやっていく。できるためにはどうしたらよいかの対応案を出していきたい。

委員：学校運営協議会が素晴らしく発展している。一気に進んで行こうとすると強制になってしまうためなかなか進まない。役員の方がやっている姿を見て、少しずつ少しずつ「私も手伝おう」となることが大切。

委員：トイレ問題が解決できてとてもよかった。団結して関わってきた方々のおかげである。コミュニケーションの話も出たが、しっかりと調整しながらやっていき、三者が中心となってコミュニティ・スクールを進めていければよいのではないかな。

委員：アンケートはどう答えていいか困ることがある。先ほどのアンケートでも「わからない」

という回答があったが、それらを除いてという計算案もある。個別の案を、ぜひこのような場に出して行ってほしい。

会長：コミュニティ・スクール進捗状況アンケートをつくった。文科省から下りてきて、「地域と学校をつくろう。」と、二小がモデル校となっている。コミュニティ・スクールをやったのだったかが大切。客観的に見るのが大切。評価はどうするのか。

本校のコミュニティ・スクールの組織図では、子どもたちが一番上にいる。子どもたちのために何をどのくらいしたか、が評価になる。そのため、アンケートに答えてほしい。本日の進捗状況評価の結果については、議事録と一緒に結果をお返しする。今後も、先ほどあったように無理のない組織をつくっていききたい。

委員：一年を通して感じたことは、奉仕作業など保護者の関わりがまだ薄いかなということ。28日（金）のPTA本部役員会で、今日のことを伝えていく。奉仕作業の名称も協議していききたい。

PTAでは今、協力員の募集を考えている。役員ということではなく、ゆるめの関わりがもてるようなアプローチを保護者にしていく。学校に、卒業後でも積極的に関わられるような関係をつくっていければと思っている。また、地域の方とも一緒に活動できるようにしていきたい。

また、この協議会の議事録を事務局で残しているが、教育委員会として議事録について何か決まりはあるか。

課長：確認のために議事録を残すことは必要。しかし、議事録の形は学校に任せる。

委員：議事録の形の検討を次年度行ってほしい。

会長：みなさん、ありがとうございました。最後に何かありますか。

学校長：一年間ありがとうございました。意向調査の結果を見せていただき、今年度で委員を退かれる方もいらっしゃるとても残念だが、心から感謝している。

二小コミュニティ・スクールは、初代会長が2年間、その方に学校運営協議会が成長していると言っていたきとてもうれしく感じている。その後、現会長が2年間、私自身も学校運営協議会が発展してきたことがとてもうれしい。

これも立ち上げた令和3年から委員のみなさまが「本気」で二小を考えてくださってきたからだと思っている。次年度もよろしく願いいたします。

会長：二小の位置づけは、阿見小と統合延期となっている状態。君原小は、小規模校として存続となっている。二小学区には、今も家がたくさん建っており、子どもたちも増えている。これからも、子どもたちのためにみんなで楽しくやりましょう。

【閉会の言葉】 教頭

※会終了後 評価検討PT

＜参加者＞ 会長、副会長2名、部会長2名、学校長、生涯学習課長